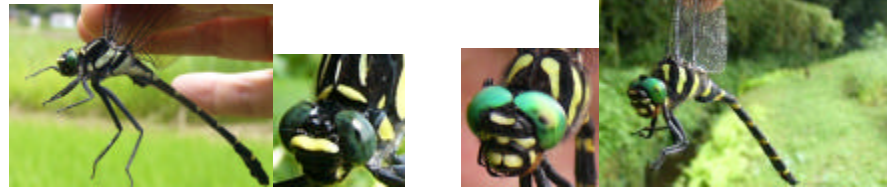


よく似たトンボの見分け方 翅・顔・胸・腹の色や形、模様、複眼・肢の様子などを観る。



左：コオニヤンマ（サナエトンボ科）：左右の複眼が離れ、肢が長く、水平の姿勢でよくとまる
 右：オニヤンマ（オニヤンマ科）：左右の複眼は接し、沢・水路周辺を行き来しながらすばやく飛ぶ



左・中：アオハダトンボ（カワトンボ科）・オス
 翅は丸みを帯びた曲線、オスは光が当たると、青く輝く
 右：ハグロトンボ（カワトンボ科）翅は直線的に曲がり黒い

赤とんぼの仲間

翅に帯が入る：ミヤマアカネ
 翅の先が黒色：ノシメトンボ・コノシメトンボ・
 マユタテアカネのメス・リスアカネ



ノシメトンボ コノシメトンボ マユタテアカネ(メス)
 透明な翅：アキアカネ・ナツアカネ・マユタテアカネ(オス)



7月・水田で羽化した未熟な赤とんぼ
 左・アキアカネ：胸の黒い線の先は細くなる
 右・ナツアカネ：胸の黒い線は太く断ち切れる

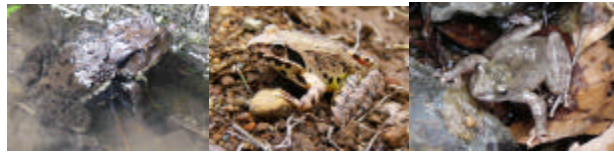
尾山のカエル



あぜ 畦に白い泡状の卵塊を産むシュレーゲルアオガエル



ニホンアマガエル トウキョウダルマガエル



アズマヒキガエル ヤマアカガエル カジカガエル

神奈川県愛川町

ふしぎがいっぱい！！

はすげさん おやまこうち
八菅山と中津川、その間の細長い尾山耕地にみる

里地・里山の自然環境とくらし



中津川左岸・龍福寺山門下から上流と対岸の尾山（耕地）を望む



八菅山と尾山耕地遠望
 中津川の手前に、箕輪耕地と段丘崖緑地
 （左岸水道坂上、あいかわ景勝10選碑付近から）

どうして、普通に見られた生きものたちが、いなくなってしまったのか、
なぜ、八菅山・尾山耕地・中津川周辺にはまだ少し生き残っているのか、
 生きものたちやまわりの環境をよく観察します。

そして、生きものたちでにぎわう身近な自然環境の大切さに気がついたとき、
 私達に何ができるのか、一緒に考えていただければ幸いです。
 維持してくださる地域や農家の方々に感謝し、学びながら。

2007年6月30日 神奈川県立青少年センター・自然教室資料

作成：あいかわ自然ネットワーク（文責：大木悦子）

ホームページ <http://aikawasizen.net/>尾山耕地他の生物たちや里山景観の写真、環境保全提案等を掲載
 画像・文字掲示板に諏訪部晃氏の画文集「三軒家むかし語り～失われた農村と子供の原風景～」抜粋転載
 お問い合わせ 事務局大木悦子 〒228-0811相模原市東林間3-12-11
 TEL & FAX 042-766-3350 e-mail aikawasizen@yahoo.co.jp